



東小だより

学校だより 7月号

R3. 6. 30

昭島市立東小学校

校長 東口 孝正

できない中でもできる工夫を

校長 東口 孝正

昨年度は実施できなかった水泳指導が2年ぶりに始まり、梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。4月に発令された緊急事態宣言が延長され、6月20日に解除されましたが、引き続き、まん延防止等重点措置が7月11日までの適用となりました。4月、5月に予定されていた遠足が延期となり、まだ日程が決まっておりません。6年生の移動教室は、11月への延期が決まりました。まだまだ、計画通りに進まない中での教育活動が続いています。



児童と新聞紙で作ったトカゲ

そのような中でも、児童朝会を校庭で全学年がそろって行えるようになり、6月25日(金)には、1週間延期となっていました。東小まつりを行うことができました。残念ながら学校公開にすることはできませんでしたが、児童は、「みんながみんなが楽しい」を意識して、準備から本番。そして片付けまでみんなで協力して行うことができました。児童の頑張りに心から拍手を送りたいと思います。

本校の児童は生き物が大好きです。そして、この季節、ダンゴムシ、バッタ、カナヘビ、ニホントカゲ等、いろいろな生き物を一段と瞳を輝かせて探しています。その中でも中学年の児童には、トカゲ類が大人気です。個人で競うように捕獲し、下駄箱にトカゲの入った観察箱が並ぶようになりました。それに伴い、学年を超えたトラブルや、観察箱でミイラになったトカゲが見られるようになり、「教室で大切に飼うのならよいが、下駄箱で飼うのは禁止。ルールを守ることができなければ、トカゲの捕獲は禁止」としました。しかし、残念ながら一部の児童がルールを守れないために、トカゲの捕獲は禁止となりました。

残念がる児童も多くいたので、児童に声をかけ、段ボール箱と新聞紙で巨大トカゲを作ることになりました。雨の日には校長室前の廊下に児童が集まり、新聞紙を丸めたり、ちぎったりと作業を進め、1ヵ月かけて完成しました。完成したトカゲは、中学年の下駄箱の上に設置しようと考えていましたが、巨大になりすぎ設置できませんでした。現在は校内を散歩しています。学校公開が再開した際には、探してみてください。

1学期も残すところ、登校日で14日となりました。まだまだ、様々な制限の中での教育活動が続きますが、できない中でもできることを工夫して、楽しい学校を目指していきたいと思います。今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。